

## 平成31年度 神奈川県立横浜国際高等学校 指導計画 (予定)

教科・科目	日本語A HL 言語と文学	学年	2, 3	教科書	「山月記」、「自負と偏見」、「友情」、 「自選 谷川俊太郎詩集」、「風姿花伝」、 「私の個人主義」、「批評理論入門」、 1年次国語総合の教科書、図説 など
		単位数	5, 5	副教材	

学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>異なる時代、スタイル(文体)およびジャンルからの多様なテキストを紹介する。</li> <li>個々のテキストを綿密かつ詳細に分析し、関連性のあるものと結びつけることができる能力を養う。</li> <li>表現力(口述および記述によるコミュニケーション)を養う。</li> <li>テキストが書かれ、受け取られた文脈の重要性を理解するよう促す。</li> <li>テキストの学習を通じて、文化的背景の異なる人々の異なるものの見方があることや、それらの見方がどのように意味を構成しているかへの認識を促す。</li> <li>テキストの格調高さや、様式的、美的な質の味わいを理解するよう促す。</li> <li>生徒が言語と文学に対して、生涯にわたって関心および喜びをもつよう促す。</li> <li>言語、文化および文脈が、テキストの意味の構築のされ方にどのように影響しているかについての理解を育む。</li> <li>テキスト、受け手、目的の間のさまざまな相互作用について、批判的に思考するよう生徒を促す。</li> </ol>
学習方法	<p>生徒は様々なテキスト作品を読んだ上で授業に臨み、授業ではディスカッションをしながら作品を分析する。分析の際は、図書館で本を借りて読む、インターネットで調べる、映像を見る、など、さまざまなアプローチを行う。単元の最後には、考察や分析をレポートにまとめたり、口頭での発表について、計画的に取り組む必要がある。</p>

内容のまとめ	時数	単元(題材)	評価方法
Part1: 文化的な文脈における言語	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語とアイデンティティーの関係を探究する力を養う。</li> <li>特定の文脈において言語がどのような影響を社会にもたらすかを分析する力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッション</li> <li>小テスト</li> <li>振り返りシート</li> <li>記述課題</li> <li>口述課題</li> <li>個人口述コメント</li> </ul>
Part4: 文学—批判的学習	30	<p>「自選 谷川俊太郎詩集」 谷川俊太郎</p> <p>文学的知識を養うとともに、適切に使用して文学作品を詳細に探究する力を養う。</p>	
Part3: 文学—テキストと文脈	30	<p>「山月記」 中島敦</p> <p>文学テキストによって表現される態度と価値観、およびそれが読者に与える影響を理解する力を養う。</p>	
	40	<p>「自負と偏見」 ジェーン・オースティン</p> <p>特定のテキストが書かれ、そして受け取られた歴史的、文化的、社会的文脈の変化を考察する力を養う。</p>	
Part2: 言語とコミュニケーション	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストを分析し、バイアスやステレオタイプについて考察する力を養う。</li> <li>メディアが社会の中でどのような言語や画像を使用しているのかを批判的に分析する力を養う。</li> </ul>	
Part3: 文学—テキストと文脈	30	<p>「友情」 武者小路実篤</p> <p>テキストの形式的な要素、ジャンル、構成が、どのように意味に影響を与え、また文脈によって影響されるかを考察する力を養う。</p>	
Part4: 文学—批判的学習	30	<p>「風姿花伝」 世阿弥</p> <p>テキストのテーマ、倫理的な立場や道徳的価値観などの要素を分析する力を養う。</p>	
	25	<p>「私の個人主義」 夏目漱石</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テキストのテーマ、倫理的な立場や道徳的価値観などの要素を分析する力を養う。</li> <li>文学テキストによって表現される態度と価値観、およびそれが読者に与える影響を理解する力を養う。</li> </ul>	
Part3: 振り返り: 復習	20	<p>「山月記」中島敦、「自負と偏見」ジェーン・オースティン、「友情」武者小路実篤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定のテキストが書かれ、そして受け取られた歴史的、文化的、社会的文脈の変化を考察する力を文学作品を比較・対比することによって養う。</li> <li>テキストの形式的な要素、ジャンル、構成が、どのように意味に影響を与え、また文脈によって影響されるかを考察する力を文学作品を比較・対比することによって養う。</li> </ul>	
Part1, 2: 振り返り: 復習	20	<p>文脈、受け手、目的、言語的・文学的技巧を使用することの重要性について論評する力を養う。</p>	